

トリミングから診察への道筋 —トリマーができること—

高木 美樹¹⁾

Miki TAKAGI

協賛：日本全薬工業株式会社

はじめに

ここ近年、集客率向上と収益を目的として、トリミングルームを併設する動物病院が多くなってきています。しかしながら、当初考えていたメリット（集客率向上と収益の増加）が得られないため、トリミングルームを閉めてしまう病院や、うまく稼働できずに悩んでいる病院も多数あります。

トリミングルーム併設のメリットは本当に集客率向上だけなのでしょうか？

本当は、これ以外にも動物病院にトリミングルームを併設する、ほとんどの方が見過ごしている、とても大きなメリットがあります。それを、この場でご紹介いたします。

トリマーが“常に”見ているペットの状態

体重の変化・耳の状態・皮膚の状態・毛玉の位置・痒みを感じている場所など、1度のトリミングで様々な事をトリマーは感じ取ることができます。

お客様のご来店が1カ月に1度であれば、1年間に12回、頭の前からしっぽの先までチェックすることができます。

このように、トリマーはペットの状態を経時的な変化を常に確認でき、健康状態から病気へ至る、小さな変化を見られる数少ないポジションなのです。

トリマーの普段の仕事

カウンセリング → 飼い主が気にしている事
ブラッシング → 毛玉の位置、汚れの位置
被毛の状態

シャンプー → 肛門腺分泌物の量、色
違和感の位置、目やにの量

ドライ → 皮膚全体の状態

カット → 毛質の変化、座り込み

爪切り → 足先の様子

耳掃除 → 汚れの量、色、皮膚の状態

ボディチェック → 体重変化、違和感の位置

チェックとコミュニケーションの重要性

経時変化を見るために、トリミング中に感じた項目に関してどんな些細なことも常に記録して残します。この情報を院内で共有することで病気の早期発見や治療への手助けになります。また、このような経時的な細かな変化は飼主様が気付かれないことが多いため、それをお伝えすることにより、トリマーとお客様との会話に繋がり、トリミング来院回数、診察来院回数の増加やフード販売促進にもつながります。この様な情報を共有すれば、獣医師、トリマー、ペットとその飼い主、皆がプラスの関係になれるはずです。

トリマーは日頃から、ペットの体を触り、状態を常にチェックをしています。しかし、状態の変化を発見したとしても、診察をすることができず、常にストレスを感じています。しかし、診断をしたいとは思ってはいません。なぜなら、トリマーにとっての幸せは、トリミングでペット達と触れ合う中で、病気の早期発見や、治療の手助けができ、ペット達がいつまでの健康で幸せな生活を送ってもらえる事だからです。

¹⁾ 株式会社 TALL TREE：〒522-0237 滋賀県彦根市堀町405-8

お わ り に

トリマーがトリミングで得られている情報は、健康体から病気へと至る変化の情報です。この情報は、飼い主・ペットに、治療という立場で接している獣医師にはなかなか得られない情報です。また、この変化の情報があれば、実際に病気で飼い主が来院された際、その初診時の情報量はかなり大きなものとなるはずです。

これらの情報を得ることによって病気の早期発見と早期治療を行える。また、健康時からチェックしてもらっている安心感から、そのペットのホームドクターとしての地位を得ることか可能となります。その結果、獣医師、トリマー、ペットとその飼い主、四方の幸福を同時に得ることができます。

そのためのツールとして、トリマーとの情報交換（コミュニケーション）が非常に重要となります。